

かたおか自慢 子ども新聞

じまん

しんぶん

区り会会
地く部
岡づ議
岡ち議
笠ま協
文化

海を守るヒーロー「アマモ」!

アマモ姫からのクイズ

皆さん、「アマモ」には、ほかに名前があることを知っていますか。どんな名前なのか、皆さんに知ってもらいたいクイズにしました。

- 1 瀬戸の浜辺の「ぢゅまほ姫」
- 2 たてながみどりぐさ
- 3 竜宮の乙姫の元結の切りはずし、さて、どれでしょう。

正解は……3の竜宮の乙姫の元結の切りはずしでした。



(六年) 馬越 絢未

アマモの個人情報

アマモの体の作りは、地下茎と呼ばれるアマモの茎の部分と長い葉の部分からできている。



アマモの色は緑色で、葉の長さは、約一メートル、幅は、約一センチ、地下茎の長さは、成長すると一・五メートルになるそうだ。六月に収穫したアマモのタネを玉ねぎのネットに入れ、夏の間は海の中につるして保管している。タネの大きさは、米粒の半分位の大きさで、十月に播種ポットに植えて苗を育てるのだと、アマモの世話をしている森中さんが教えてくれた。

(六年) 丸山 真由

神島の藻場

七月十二日、アマモを調べに神島へ行った。笠岡市では神島を中心に高島などの干潟でも繁殖している。干潟とは、潮が引いた時にでこぼこや砂がまざった地面のことでカブトガニもよく好む場所だ。アマモは、満潮(海水面がもつとも高くなる時)になるとまつすぐ立って、海中でゆらゆら揺れているが干潮(海水面がもつとも低くなる時)になるとぐっしりと地面に倒れてしまう。



このように、アマモは満潮の時や干潮の時にはいろいろな表情を見せてくれる。

ふやすり組み

方法は、夏にタネをとり、十月にポットで苗を育て、冬に海の畑に植え付けるそうだ。神島では、この見崎の海にしか所だけ育っている



(五年) 金山 愛

アマモのはたらき

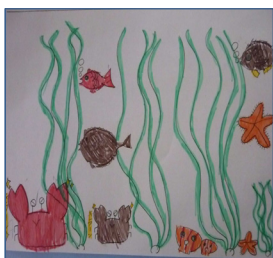
アマモの役割は、主に三つある。一つ目は、「生き物のすみか」である。小魚や、カニなどのすみか、隠れ家、餌場産卵場になる事から、「海のゆりかご」とも呼ばれている。

二つ目は、「光合成」である。アマモは陸の植物と同じように、光合成により二酸化炭素を吸収して、酸素を出してくれるので、魚たちが助かっている。

三つ目は、「海岸線の保全」である。アマモは、長い葉によって、波をやわらげたり、地面に根を張って、海岸線がけずられたりするのを防いでいる。海のヒーロー「アマモ」は、このように、いつも海を守っている。

魚の楽園アマモの森

神島の一番西の端にアマモを見に行くと、水が引いたアマモの中に大きなカニがいた。網でつかまえてみると、爪をふり上げて、ていこうした。



潮が満ちてくると、小さい魚がびちびちとねだした。網でとらえようとすると、すぐ、アマモの間ににげた。いかくれ家があつていいな。

(四年) 丸山 華史